

事業名：公共街路灯新設更新等事業

土木事務所道路管理課 維持係

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の基本方針	01 安全な暮らしの確保			具体的施策					
開始年度	昭和42年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内全域

指標名	単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
対象指標 1 市内全域面積	Km2	187.38	187.38	187.38	187.38
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

市が管理している市道道路照明について、必要な改修及び更新等を行う。

指標名	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
活動指標 1 新設更新灯数	基	37	96	89	61
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

公共街路灯の新設・更新により、その機能の維持・向上と、夜間の地域環境の向上が図られる。

指標名	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
成果指標 1 公共街路灯数	基	3,292	3,320	3,370	3,407
成果指標 2 街路灯点検結果による更新が必要な灯数（H26点検）	基	398	398	398	398

事業費の推移	単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
事業費（A）	千円	31,968	66,755	33,932	70,028
正職員人件費（B）	千円	1,534	1,524	1,544	3,110
総事業費（A+B）	千円	33,502	68,279	35,476	73,138

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
31年度 道路照明設備点検事業により判明した老朽化による倒壊危険度が高い公共街路灯の更新、撤去	工事費 70,028千円

31年度への改善方向性（2月時点）	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：空家等対策推進事業

建築指導課

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の基本方針	01 安全な暮らしの確保			具体的施策					
開始年度	平成30年度	終了年度	平成35年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内全域の空き家

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
対象指標 1	市内全域の空き家（推計）	棟	0	0	300	300
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

空き家等がもたらす課題の解消に向け、空家等対策計画に基づき、所有者等の管理意識の醸成と関係団体との連携による発生抑制及び利活用の推進を図るとともに、空き家等対策の情報発信や相談体制を整備する。

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
活動指標 1	空き家に関する相談・指導件数	件	0	0	128	102
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

危険空き家等への対応及び空き家等の利活用により、安全で安心な住環境を確保する。

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
成果指標 1	管理不全な空き家の解消件数	件	0	0	14	17
成果指標 2						

事業費の推移		単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	342	297
正職員人件費 (B)		千円	0	0	11,583	9,330
総事業費 (A+B)		千円	0	0	11,925	9,627

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
31年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>空家等対策協議会の開催</li> <li>啓発パンフレットの作成等</li> <li>特定空家等の認定</li> <li>危険空き家等への応急対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空家等対策協議会運営費：197千円</li> <li>啓発パンフレット作成経費等：100千円</li> </ul>	

31年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：河川等維持事業

土木事務所治水課

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の基本方針	02 地域防災力の向上			具体的施策					
開始年度	昭和57年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市が管理する河川及び調整池

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
対象指標 1	準用河川及び普通河川数	河川	25	25	25	25
対象指標 2	調整池数	ヶ所	27	27	27	27

手段（事務事業の内容、やり方）

江別市が管理する河川及び調整池において発生した不良箇所を解消するための工事等を行う。  
 1) 法面補修工事、浚渫工事  
 2) 管理用道路補修工事  
 3) 調整池における防護柵補修など

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
活動指標 1	河川・調整池の補修等工事件数	件数	4	9	4	2
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

河川や調整池が、本来発揮すべき機能を維持する。

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
成果指標 1	河川・調整池の不良箇所数	件数	3	7	4	2
成果指標 2						

事業費の推移	単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
事業費 (A)	千円	8,370	9,782	9,185	7,623
正職員人件費 (B)	千円	2,301	2,285	2,317	2,333
総事業費 (A+B)	千円	10,671	12,067	11,502	9,956

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
31年度	市が管理する準用河川・普通河川の床ざらい等計画的に行うもの 緊急的に必要となる河川維持	準用河川床ざらい工事（豊幌川） 中樹林集水路床ざらい工事 その他緊急工事	3,600千円 2,500千円 1,000千円

31年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：排水機場維持管理事業

土木事務所治水課

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の基本方針	02 地域防災力の向上			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

排水機場

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
対象指標 1	排水機場数	箇所	18	18	18	18
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

市内排水機場等の点検整備・点検操作を委託で実施する事により、災害に備えた施設・設備の維持管理を行う。

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
活動指標 1	維持管理経費	千円	67,577	57,552	61,817	64,691
活動指標 2	施設巡回・点検回数	回	9	9	9	9

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設・設備を適切に管理し、緊急時に対応できる機能を維持する。

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
成果指標 1	不具合件数	件	0	0	0	0
成果指標 2						

事業費の推移	単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
事業費 (A)	千円	67,577	57,552	61,817	64,691
正職員人件費 (B)	千円	4,602	4,571	4,633	4,665
総事業費 (A+B)	千円	72,179	62,123	66,450	69,356

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
31年度	水害時に備えた施設の点検、整備、修繕及び緊急運転対応など 排水機場（18機場）の月次運転 施設の法定点検 排水機場等施設修繕 不具合時応急修繕 大雨時の緊急運転	排水機場（18機場）の月次点検費用 市内排水機場自家用電気工作物点検 市内排水機場緊急排水運転費 市内排水機場燃料費 市内排水機場光熱水費 市内排水機場施設等修繕費	49,900千円 1,036千円 3,000千円 1,365千円 4,582千円 1,845千円

31年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：江別河川防災ステーション管理経費 土木事務所治水課

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の基本方針	02 地域防災力の向上			具体的施策					
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

**対象（誰、何に対して事業を行うのか）**  
江別河川防災ステーション

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

**手段（事務事業の内容、やり方）**  
江別河川防災ステーションの維持・管理を行う

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
活動指標 1	開設日数	日	308	308	308	308
活動指標 2						

**意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）**  
施設が適切に管理運営され、災害時に防災拠点として利用される。また、平常時には利用者が多目的に利用できるとともに、河川への防災意識の向上が図られる。

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
成果指標 1	不具合件数	件数	0	0	0	1
成果指標 2	利用者数	人	78,743	80,518	78,704	80,791

事業費の推移	単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
事業費 (A)	千円	19,980	21,652	20,975	22,132
正職員人件費 (B)	千円	4,602	3,809	3,861	3,888
総事業費 (A+B)	千円	24,582	25,461	24,836	26,020

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
31年度	災害時の活動拠点となる施設の維持管理業務 館内保守点検業務 施設等修繕	館内管理業務	13,400千円
		燃料費	1,724千円
		光熱水費	3,257千円
		施設等修繕費	1,025千円

31年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：耐震化推進支援事業

建築指導課

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の基本方針	02 地域防災力の向上			具体的施策					
開始年度	平成22年度	終了年度	平成32年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金	政策的補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市耐震改修促進計画に基づく民間住宅の所有者及び、居住者又は居住予定者

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
対象指標 1	対象建築物数	戸	1,390	1,390	4,656	4,656
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

同計画に基づき耐震化を促進するために木造住宅等の無料簡易耐震診断を実施する他、「江別市木造住宅耐震改修等補助金交付に関する要綱」により専門家が行う耐震診断、補強設計及び耐震改修工事の費用の一部を補助する。

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	0	660	60	2,289
活動指標 2	無料耐震診断を行った件数	件	15	3	8	10

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

現行の耐震基準に満たない既存建築物の耐震性能の向上を図り、地震による建築物の倒壊被害から市民の生命及び財産に対する被害を未然に防止する。

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
成果指標 1	補助利用率	%	0	88	2.6	100
成果指標 2	補助金を受けた件数	件	0	4	1	9

事業費の推移		単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
事業費 (A)		千円	0	1,448	2,311	2,311
正職員人件費 (B)		千円	6,903	6,856	6,178	7,775
総事業費 (A+B)		千円	6,903	8,304	8,489	10,086

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
31年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>無料簡易耐震診断</li> <li>専門家が行う耐震診断、補強設計及び耐震改修工事への補助</li> <li>出前講座「住宅の耐震化セミナー」の実施、支援制度のPR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震診断・補強設計・耐震改修への補助 2,289千円（1/4は国費による交付金、1/2は道費による交付金）</li> <li>新規耐震パンフレットの製作・印刷 22千円</li> </ul>	

31年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：新栄団地建替事業

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策					
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市営住宅（新栄団地、野幌団地及びあけぼの団地の一部）

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
対象指標 1	市営住宅管理戸数	戸	280	328	296	296
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

新栄団地、野幌団地及びあけぼの団地の一部を新栄団地に建替・集約する。  
 新栄団地建替の設計、工事、既存住宅の用途廃止等を実施する。  
 H30～H31 D棟建設，H32～H33 E棟建設，H34～H35 F棟建設

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
活動指標 1	建設戸数	戸	0	48	0	48
活動指標 2	除却戸数	戸	54	0	32	0

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

老朽化し、狭隘な住宅を建て替えることにより、入居者が安全に安心して暮らせるようにする。

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
成果指標 1	団地改善率	%	34.3	43.9	48.6	55.8
成果指標 2						

事業費の推移	単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
事業費 (A)	千円	352,134	798,111	415,093	943,966
正職員人件費 (B)	千円	6,903	6,856	6,950	6,998
総事業費 (A+B)	千円	359,037	804,967	422,043	950,964

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
31年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>新栄団地D棟建設工事（建築工事・各種工事）【H30-H31継続事業】</li> <li>新栄団地既存建物除却工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新栄団地D棟建設工事 823,388千円</li> <li>新栄団地既存建物除却工事 77,706千円</li> </ul>

31年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：江別の顔づくり事業（街路事業等）

顔づくり推進室街路整備課 街路整備係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策					
開始年度	平成 7年度	終了年度	平成31年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

都心地区（野幌駅周辺地区）

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
対象指標 1	都心地区の面積	ha	240	240	240	240
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

・街路事業等を活用した道路整備を行う。

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
活動指標 1	道路整備延長	km	0	0.27	0.52	0.3
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・野幌駅を中心とした幹線道路網や歩行者ネットワークの整備及び交通バリアフリー化等により、安全・円滑・快適な道路網が形成される。

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
成果指標 1	事業費進捗率（累計）	%	34	51	78	100
成果指標 2						

事業費の推移	単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
事業費 (A)	千円	529,670	727,873	666,616	629,579
正職員人件費 (B)	千円	61,360	68,562	69,498	69,975
総事業費 (A+B)	千円	591,030	796,435	736,114	699,554

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
31年度 ・野幌駅南通（第2工区）の用地買収、物件補償、整備工事 ・都市緑地等の整備工事 ・野幌駅南側駐輪場の整備工事	野幌駅南通（第2工区）の整備工事費 99,820千円 野幌駅南通（第2工区）の用地買収費 6,041千円 野幌駅南通（第2工区）の物件補償費 35,000千円 都市緑地等の整備工事費 324,450千円 野幌駅南側駐輪場の整備工事費 35,480千円

31年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--



事業名：江別の顔づくり事業（野幌駅周辺土地区画整理事業） 顔づくり推進室区画整理課

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策					
開始年度	平成 7年度	終了年度	平成31年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

**対象（誰、何に対して事業を行うのか）**  
 土地区画整理事業施行地区（野幌駅周辺地区）

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
対象指標 1	施行地区の面積	ha	10.6	10.6	10.6	10.6
対象指標 2						

**手段（事務事業の内容、やり方）**  
 ・土地区画整理事業により、道路・駅前広場等の公共施設の整備や宅地の再配置を行う。  
 <事業内容>  
 （施行地区面積）約10.6ha （事業施行期間）H18～H36 ※清算期間5ヵ年含む  
 （公共施設整備）都市計画道路、駅前広場等 （仮換地指定計画筆数）111筆 ※宅地の再配置筆数  
 （物件移転計画棟数）92棟 （事業費）約7.5億円 ※人件費除く

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
活動指標 1	仮換地指定を行った筆数（累計）	筆	111	111	111	111
活動指標 2	物件移転を行った棟数（累計）	棟	86	92	92	92

**意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）**  
 ・野幌地区の南北市街地の一体化など、利便性が高く快適な中心市街地を形成するため、駅周辺の公共施設等の整備改善を図る。

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
成果指標 1	事業費進捗率（累計）	%	80	88	99	100
成果指標 2						

事業費の推移	単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
事業費 (A)	千円	448,183	620,840	472,553	31,939
正職員人件費 (B)	千円	69,031	60,944	61,776	31,100
総事業費 (A+B)	千円	517,214	681,784	534,329	63,039

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
31年度	○ 換地処分に伴う登記関連委託	○ 換地処分に伴う登記関連等委託費	9,900千円
	○ 電線地中化に伴う工事	○ 工事費等	10,000千円

31年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：公園管理事業

都市建設課 公園係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市が管理する都市公園

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
対象指標 1	市が管理する都市公園数	箇所	230	230	230	230
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・施設の維持管理及び管理運営を指定管理者に委任する。
- ・公園施設長寿命化計画に基づき、遊具等の改築を国の補助を受けて実施する。（補助率：1/2）

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
活動指標 1	指定管理料	千円	153,349	153,349	154,259	155,726
活動指標 2	改築遊具・施設数	施設	2	3	6	10

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設の維持管理・管理運営を適切かつ効率的に行い、市民が快適で安全に憩える公園とする。

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
成果指標 1	自主事案件数	件	15	15	16	15
成果指標 2	累計改築遊具・施設数	施設	3	6	12	22

事業費の推移	単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
事業費 (A)	千円	206,443	247,039	261,770	296,549
正職員人件費 (B)	千円	14,957	14,855	16,602	24,491
総事業費 (A+B)	千円	221,400	261,894	278,372	321,040

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
31年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者による管理運営</li> <li>・公園施設長寿命化計画に基づく遊具等の改築及び修繕</li> <li>・アダプトプログラム</li> <li>・樹木管理（剪定、伐採等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理料 155,726 千円</li> <li>・改築関係工事費 89,200 千円</li> <li>・維持補修関係工事費 9,500 千円</li> <li>・維持補修関係委託料 19,860 千円</li> </ul>	

31年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：市民参加による公園づくり事業

都市建設課 公園係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策					
開始年度	平成15年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

**対象（誰、何に対して事業を行うのか）**  
市が管理する都市公園

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
対象指標 1	市が管理する都市公園数	箇所	230	230	230	230
対象指標 2						

**手段（事務事業の内容、やり方）**  
 ・公園施設長寿命化計画に基づき、公園の再整備を国の補助を受けて実施する。（補助率：1/2）  
 ・整備内容については地域の子ども達や自治会の参加によるワークショップ会議により計画する。

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
活動指標 1	再整備公園数	箇所	1	1	1	1
活動指標 2						

**意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）**  
 ・市民協働のシンボルとして地域に親しまれる公園にする。  
 ・公園再整備に併せて、公園施設のバリアフリー化を図ることで、誰もが利用しやすい公園にする。

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
成果指標 1	累計再整備公園数	箇所	13	14	15	16
成果指標 2						

事業費の推移	単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
事業費 (A)	千円	44,804	43,464	55,126	40,220
正職員人件費 (B)	千円	6,136	6,094	6,178	6,220
総事業費 (A+B)	千円	50,940	49,558	61,304	46,440

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
31年度	・さくら公園再整備工事（東野幌町） 面積：約0.4ha 内容：遊具更新、バリアフリー化等 ・公園整備に向けたワークショップ及び実施設計	・整備工事費 34,900 千円 ・一般委託料 5,300 千円	

31年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：町名板再整備事業

開発指導課 開発指導係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策					
開始年度	平成10年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・市民
- ・来訪者

指標名	単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
対象指標 1					
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- 市街化区域内の角地や町名界にある建物に所有者の同意を得た後、街区型町名板を貼付
- 江別の顔づくり事業により新たに整備された交差点に信号機型町名板を整備

指標名	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算	
活動指標 1	街区型町名板整備数	枚	222	232	201	265
活動指標 2	信号機型町名板整備数	ヶ所	0	0	0	1

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市民及び市内来訪者等に町名や地番をわかりやすい状態にする

指標名	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算	
成果指標 1	所在確認の問い合わせ件数	件	9	8	2	2
成果指標 2						

事業費の推移	単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
事業費 (A)	千円	1,703	1,768	1,716	1,755
正職員人件費 (B)	千円	3,835	3,809	3,861	3,888
総事業費 (A+B)	千円	5,538	5,577	5,577	5,643

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
31年度 1. 街区型町名板 ~住民及び来訪者の利便性を図る ・市民要望による街区型町名板の貼付 ・未貼付箇所等現況調査及び意向確認、貼付 2. 信号機型町名板 ~住民及び来訪者の利便性を図る ・信号機型町名板の整備	・街区型町名板整備費 956千円 ・信号機型町名板整備費 799千円

31年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	住民及び来訪者の利便性向上を図るため、江別の顔づくり事業により新設された交差点の信号機に信号機型町名板を整備する。

事業名： 団地集会所維持管理経費

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

団地集会所

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
対象指標 1	施設数	箇所	5	5	5	5
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

団地集会所の維持・管理

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
活動指標 1	利用可能日数	日	308	308	308	308
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

集会所利用者が安心して利用できる。

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
成果指標 1	集会所使用件数	件	513	532	550	550
成果指標 2						

事業費の推移		単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
事業費 (A)		千円	2,778	2,797	3,041	2,960
正職員人件費 (B)		千円	767	762	772	778
総事業費 (A+B)		千円	3,545	3,559	3,813	3,738

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
31年度	団地集会所の維持管理	・ 集会所管理人報酬	1,800千円
		・ 集会所燃料費	104千円
		・ 集会所光熱水費	749千円

31年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：市営住宅管理経費

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤			戦略				
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市営住宅入居者

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
対象指標 1	市営住宅入居戸数	戸	984	968	1,000	1,000
対象指標 2	市営住宅入居者数	人	1,950	1,892	2,000	2,000

手段（事務事業の内容、やり方）

市営住宅の家賃決定、入居者募集、選考及び決定、家賃及び敷金の徴収、徴収猶予及び減免、模様替え等の承認、明け渡し請求などの処分、入居相談、世帯人数と住戸規模のミスマッチ解消の実施。施設の維持保全及び一般修繕。

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
活動指標 1	維持修繕受付件数	件	511	566	550	550
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市営住宅が適切に管理され、入居者が快適に生活できる（政策空家を除く）。

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
成果指標 1	入居率	%	83.6	82.1	85.2	84.8
成果指標 2						

事業費の推移		単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
事業費 (A)		千円	46,758	46,400	51,692	51,400
正職員人件費 (B)		千円	13,039	12,951	13,127	13,218
総事業費 (A+B)		千円	59,797	59,351	64,819	64,618

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
31年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅の小規模修繕</li> <li>住宅設備の保守点検</li> <li>家賃の決定及び徴収・滞納整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅の修繕費 19,500千円</li> <li>保守点検等の委託費 13,912千円</li> </ul>	

31年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 弥生団地大規模改善事業

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策					
開始年度	平成25年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市営住宅（弥生団地）

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
対象指標 1	市営住宅管理戸数	戸	223	223	223	223
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

市営住宅長寿命化計画に基づき、弥生団地の大規模改善工事を計画的に実施する。

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
活動指標 1	外部改修戸数	戸	24	0	24	24
活動指標 2	設備改修戸数	戸	24	24	24	24

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

弥生団地の大規模改善工事を計画的に実施することにより、入居者が安全に安心して暮らせる市営住宅を供給する。

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
成果指標 1	団地改善率（改修戸数／延べ改修戸数）	%	30.1	34.9	44.5	54.09
成果指標 2						

事業費の推移	単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
事業費 (A)	千円	98,245	21,562	131,151	129,041
正職員人件費 (B)	千円	767	762	772	778
総事業費 (A+B)	千円	99,012	22,324	131,923	129,819

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
31年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>弥生団地E棟外部改修工事（屋根改修、外壁塗装、アルミサッシ化等）</li> <li>弥生団地D棟給水設備改修工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>弥生団地E棟外部改修工事 105,534千円</li> <li>弥生団地D棟給水設備改修工事 22,049千円</li> </ul>

31年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：住宅取得支援事業

建築指導課

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策					
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	その他

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

親と同居・近居して住宅を取得又はリフォームを希望する世帯及び住宅取得を希望する多子世帯

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
対象指標 1	親と同居等して住宅取得等を希望する世帯及び住宅取得を希望する多子世帯数（特定不能）	世帯	0	0	0	0
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

補助金交付要綱に基づき、以下の要件に該当する方に対し、住宅取得費・リフォーム費用の一部を助成する。

- ・親と同居又は近居のために住宅を取得する方
- ・親と同居するためにリフォームする方
- ・住宅を取得する多子世帯（18歳未満の子が2人以上いる世帯）

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
活動指標 1	交付申請受付件数	件	162	232	244	260
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

多世代同居・近居支援による転出抑制、多子世帯支援による転入促進・転出抑制を図り、高齢・子育て世帯の定住化を進める。

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
成果指標 1	支援により定住した世帯数	世帯	150	218	244	260
成果指標 2						

事業費の推移		単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
事業費 (A)		千円	39,900	59,684	70,000	70,000
正職員人件費 (B)		千円	11,505	9,142	8,494	13,218
総事業費 (A+B)		千円	51,405	68,826	78,494	83,218

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
31年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親と同居又は近居のための住宅取得費用助成</li> <li>・親と同居するためのリフォーム費用助成</li> <li>・多子世帯への住宅取得費用助成</li> </ul>	住宅取得費、リフォーム費用の一部助成：70,000千円

31年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	



事業名：市営住宅長寿命化計画策定事業

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策					
開始年度	平成31年度	終了年度	平成32年度	区分1	新規	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

平成23年度に策定された、「江別市営住宅長寿命化計画」  
計画期間：平成24年度～平成33年度

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
対象指標1	市営住宅管理戸数	戸	0	0	0	1,205
対象指標2						

手段（事務事業の内容、やり方）

上位計画である江別市総合計画、江別市住生活基本計画、都市計画、福祉計画などの関連計画等の内容を踏まえ「公営住宅等長寿命化計画策定指針」に基づき、現「江別市営住宅長寿命化計画」を見直す。

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
活動指標1	委員会等開催回数	回	0	0	0	2
活動指標2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

団地別・住棟別の修繕や改善、建替などの事業プログラムを定め、市営住宅の効率的かつ円滑な更新を行い、市営住宅の需要に的確に対応する。

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
成果指標1	計画策定数	件	0	0	0	0
成果指標2						

事業費の推移		単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
事業費(A)		千円	0	0	0	4,000
正職員人件費(B)		千円	0	0	0	6,220
総事業費(A+B)		千円	0	0	0	10,220

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
31年度	市営住宅長寿命化計画策定調査業務委託	市営住宅長寿命化計画策定調査業務委託 3,970千円	

31年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
新規	市営住宅の長寿命化を図るため、平成23年度に策定された「江別市営住宅長寿命化計画」を見直し、次期計画を策定する。

事業名：道路景観づくり推進事業

土木事務所道路管理課 管理係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市内の道路  
・違反広告物

指標名	単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
対象指標 1 市内の国道・道道・市道実延長	km	865	866	867	863
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

・北海道屋外広告物条例に違反するはり紙、はり札及び立看板を除却する。  
・広告主への除却指導（年数回）  
・違反広告物の除却（年数回）  
・石狩振興局へ除却数を報告（年2回）

指標名	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
活動指標 1 広告主への指導件数	件	4	1	4	2
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

道路の美観風致の維持、整然とした街並みとなるために違反広告物を放置しづらくなる。

指標名	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
成果指標 1 違反広告物の除却数	枚	523	564	500	250
成果指標 2					

事業費の推移	単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
事業費 (A)	千円	1,327	1,310	989	684
正職員人件費 (B)	千円	1,534	1,524	1,544	1,555
総事業費 (A+B)	千円	2,861	2,834	2,533	2,239

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
31年度 ・ 広告主への除却指導 ・ 違反広告物の除却 ・ 石狩振興局へ除却枚数を報告	・ 軍手等の消耗品 19千円 ・ 除却活動員の保険 5千円 ・ 公告調査、除却委託経費 660千円

31年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：大麻市営駐車場管理経費

土木事務所道路管理課 管理係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

大麻市営駐車場

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
活動指標 1	指定管理料	千円	8,489	8,489	10,270	10,486
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

低廉な料金で駐車できる駐車場を確保することにより、駅周辺の路上駐車削減を図る。

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
成果指標 1	年間延べ利用台数	台	46,999	47,105	47,000	47,000
成果指標 2	苦情件数	件	0	0	0	0

事業費の推移		単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
事業費 (A)		千円	8,489	8,489	10,270	10,486
正職員人件費 (B)		千円	2,301	2,285	2,317	2,333
総事業費 (A+B)		千円	10,790	10,774	12,587	12,819

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
31年度	市営駐車場の運営管理を指定管理者に委託する。 照明灯内部のPCB安定器を除去、保管	・指定管理料	10,140千円
		・PCB安定器交換	346千円

31年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：自治会排雪支援事業

土木事務所雪対策課

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

排雪指定路線以外の市道

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
対象指標 1	市道総延長	km	832	832	832	835
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

自治会主体で実施する排雪作業に対し、ロータリ除雪車（車両のみ）とダンプトラック（車両と運転手）を貸与する。

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
活動指標 1	排雪延長	km	345	346	346	346
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

自治会区域内の排雪作業を支援し、交通の確保を図る。

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
成果指標 1	自治会排雪実施率	%	76	77	77	77
成果指標 2	自治会排雪実施自治会数	自治会	100	101	101	101

事業費の推移		単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
事業費 (A)		千円	170,184	188,136	202,000	214,000
正職員人件費 (B)		千円	4,986	4,952	5,019	4,665
総事業費 (A+B)		千円	175,170	193,088	207,019	218,665

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
31年度	・自治会排雪実施にかかる作業車両の支援	・ダンプトラック／ロータリ除雪車の支援費用	214,000千円

31年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：除排雪事業

土木事務所雪対策課

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

**対象（誰、何に対して事業を行うのか）**  
 公共除排雪対象の市道及び公共施設等

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
対象指標 1	市道総延長	km	832	832	832	835
対象指標 2						

**手段（事務事業の内容、やり方）**  
 午前1時までの降雪量が10cmを超えるなど、朝方迄に除雪作業が必要と予想される場合、午前7時迄に全作業を完了するよう除雪作業を行う。  
 また、道路幅員の狭窄、路肩の雪堤状況等諸条件から総合的に判断し、運搬排雪作業を行う。

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
活動指標 1	除雪延長	km	729	729	729	732
活動指標 2	排雪延長	km	120	121	121	121

**意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）**  
 冬期間の円滑な道路交通網を確保する。

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
成果指標 1	降雪・吹雪による交通止めとなった箇所数	箇所	0	0	0	0
成果指標 2						

事業費の推移	単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
事業費 (A)	千円	765,407	893,350	928,397	1,011,324
正職員人件費 (B)	千円	23,394	22,854	23,166	23,325
総事業費 (A+B)	千円	788,801	916,204	951,563	1,034,649

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
31年度	・ 除排雪事業委託	・ 除排雪事業委託 919,000千円

31年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：私道除雪補助金

土木事務所雪対策課

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

一般通行の用に供する私道

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
対象指標 1	私道除雪申請延長	km	1.58	1.54	1.54	1.54
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

自治会が行う私道除雪について、市が算定する補助基準額の2分の1以内の額を自治会に補助する。

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	941	938	1,178	1,236
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

私道における冬期間の交通確保を図る。

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
成果指標 1	私道除雪延長	km	1.58	1.54	1.54	1.54
成果指標 2						

事業費の推移		単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
事業費 (A)		千円	941	938	1,178	1,236
正職員人件費 (B)		千円	384	381	386	389
総事業費 (A+B)		千円	1,325	1,319	1,564	1,625

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
31年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般交通の用に供する私道除雪のうち、自治会が行うものについて、市が定める基準額の2分の1以内を補助する。</li> <li>私道除雪補助金10自治会 L=1.54km</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>私道除雪補助金 1,236千円</li> </ul>	

31年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：不法投棄対策事業（市道）

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	平成17年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市道

指標名	単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
対象指標 1 市道延長	km	832	832	832	835
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

市道に不法投棄された投棄物について、巡回を行い処理する。

指標名	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
活動指標 1 巡回回数	回	12	12	12	12
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

不法投棄物を処理することにより、道路の機能及び景観を維持するとともに、さらなる不法投棄発生を抑止する。

指標名	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
成果指標 1 不法投棄物延べ処理件数	件	373	417	400	300
成果指標 2					

事業費の推移	単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
事業費 (A)	千円	3,666	3,616	4,650	4,400
正職員人件費 (B)	千円	767	762	772	778
総事業費 (A+B)	千円	4,433	4,378	5,422	5,178

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
31年度	不法投棄の巡回、回収、運搬、分別の委託業務	委託費 4,400千円

31年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：道路橋梁管理経費（臨時）

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市道

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
対象指標 1	市道総延長	km	832	832	832	835
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

老朽化による施設の更新等の修繕工事

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
活動指標 1	実施延長	km	2.8	2	2.6	2.2
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

道路施設を常に良好な状態に保ち道路の走行性及び安全性を確保し、道路の利用者が安心して通行できる道路を維持する。

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
成果指標 1	道路維持管理上の不具合件数	件	877	858	804	800
成果指標 2						

事業費の推移	単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
事業費 (A)	千円	440,991	430,586	407,818	402,963
正職員人件費 (B)	千円	13,806	13,712	13,900	13,995
総事業費 (A+B)	千円	454,797	444,298	421,718	416,958

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
31年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事路線現況測量</li> <li>・路面凍上改修工事等</li> </ul>	委託費	12,215千円
		使用料	777千円
		工事費	385,200千円
		投資関係備品購入費	2,271千円

31年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	



事業名：道路橋梁管理経費（経常）

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市道

指標名	単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
対象指標 1 市道総延長	km	832	832	832	835
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

道路の損傷箇所の修繕・復旧対応

指標名	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
活動指標 1 市道管理延長	km	832	832	832	835
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

道路施設を常に良好な状態に保ち、道路の走行性及び安全性を確保し、道路の利用者が安心して通行できる道路を維持する。

指標名	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
成果指標 1 道路維持管理上の不具合件数	件	877	858	804	800
成果指標 2					

事業費の推移	単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
事業費 (A)	千円	155,120	149,063	146,800	146,100
正職員人件費 (B)	千円	9,588	9,523	9,653	9,719
総事業費 (A+B)	千円	164,708	158,586	156,453	155,819

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
31年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>路面清掃委託</li> <li>道路草刈委託</li> <li>道路維持作業委託</li> <li>舗装補修工事</li> <li>原材料費（砂利、常温合材等）</li> </ul>	委託費	53,100千円
		工事費	76,000千円
		原材料費	17,000千円

31年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：ロードヒーティング管理経費

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

路面融雪施設

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
対象指標 1	ロードヒーティング延長	m	1,197.6	1,197.6	1,197.6	1,416.6
対象指標 2	ロードヒーティング面積	m <sup>2</sup>	6,765.5	6,765.5	6,765.5	7,812.8

手段（事務事業の内容、やり方）

冬季間において巡回、点検を実施し、正常に作動しているかどうかの確認

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
活動指標 1	巡回・点検回数	回	16	16	16	16
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

ロードヒーティングを適切に管理し、円滑な移動を可能にし、市民の安全性、利便性、快適性を高める。

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
成果指標 1	管理上の不具合件数	件	6	2	8	0
成果指標 2						

事業費の推移	単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
事業費 (A)	千円	34,720	37,802	33,890	38,688
正職員人件費 (B)	千円	767	762	772	778
総事業費 (A+B)	千円	35,487	38,564	34,662	39,466

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
31年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光熱水費</li> <li>・施設等修繕費</li> <li>・委託費他</li> </ul>	光熱水費 37,000千円 施設等修繕費 1,000千円 委託費他 688千円	

31年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：橋梁長寿命化事業

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市内の橋梁

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
対象指標 1	橋梁（市道）	橋	155	155	147	147
対象指標 2	修繕が必要な橋梁数	橋	46	46	38	38

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・江別市橋梁長寿命化修繕計画（平成25年2月19日策定）に基づき修繕工事を実施する。
- ・事業の進め方については、5年を目途に定期点検を実施し、工事の優先性を検証することにより、効率的かつ効果的に計画を進める。
- ・社会資本整備総合交付金を活用し実施する。（補助率6/10）

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
活動指標 1	当該年度修繕対象橋梁数	橋	1	1	5	1
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

計画的な予防修繕による橋梁の延命化（長寿命化）を図ることで、修繕費用等を縮減する。

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
成果指標 1	修繕工事が完了した橋梁の割合	%	8.7	10.9	26.3	28.9
成果指標 2						

事業費の推移		単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
事業費 (A)		千円	74,273	75,959	104,000	137,776
正職員人件費 (B)		千円	4,986	6,475	6,950	7,775
総事業費 (A+B)		千円	79,259	82,434	110,950	145,551

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
31年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・橋梁定期点検</li> <li>・橋梁修繕工事実施設計</li> <li>・橋梁修繕工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期点検委託 26,476千円</li> <li>修繕工事実施設計 6,500千円</li> <li>修繕工事 104,800千円</li> </ul>	

31年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：道路施設再整備事業

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

道路施設全般

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
対象指標 1	道路施設数	箇所	212	212	212	212
対象指標 2	対象道路延長	km	247	247	247	247

手段（事務事業の内容、やり方）

道路施設において、総点検を行い現状の状況を把握する。

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
活動指標 1	道路施設点検件数	箇所	11	0	0	0
活動指標 2	道路路面調査延長	km	0	0	0	0

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

今後老朽化する道路施設全般について、総点検を行い、落下、倒壊等の恐れのあるものは改修、修繕を図り第三者への被害を防止する。

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
成果指標 1	改修、修繕箇所数	箇所	0	0	1	0
成果指標 2	改修、修繕延長	km	1.1	2.2	3	4.4

事業費の推移	単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
事業費 (A)	千円	145,640	156,527	187,000	255,400
正職員人件費 (B)	千円	4,602	4,571	4,633	4,665
総事業費 (A+B)	千円	150,242	161,098	191,633	260,065

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
31年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>舗装修繕工事</li> <li>ゾーン30路面標示</li> </ul>	委託費	4,700千円
		工事費	250,700千円

31年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：道路橋梁再整備事業

都市建設課 道路整備係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市が管理する道路のうち再整備が必要な幹線道路等

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
対象指標 1	事業路線の全体整備延長	km	0.36	0.36	0.36	1.1
対象指標 2	事業路線数	路線	1	1	1	1

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・経年劣化などにより損傷した路線について、道路改良や舗装新設などの必要な再整備を実施する。
- ・社会資本整備総合交付金を活用し実施する。（補助率6/10）

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
活動指標 1	当該年度の工事延長	km	0.14	0.14	0.05	0.63
活動指標 2	当該年度の実施路線数	路線	1	1	1	1

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・損傷した路線の再整備を行い、車両や歩行者の安全で快適な通行環境を確保する。

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
成果指標 1	事業路線のうち整備済みの道路延長	km	0.17	0.31	0.36	0.63
成果指標 2	事業路線のうち整備が完了した路線数	路線	0	0	1	0

事業費の推移	単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
事業費 (A)	千円	30,942	37,206	28,765	96,000
正職員人件費 (B)	千円	4,986	5,714	3,089	6,998
総事業費 (A+B)	千円	35,928	42,920	31,854	102,998

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
31年度	・早苗別道路の測量調査、実施設計及び舗装新設工事	・早苗別道路測量調査、実施設計 10,747千円 ・早苗別道路舗装新設工事 84,745千円

31年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：百間境道路整備事業

都市建設課 道路整備係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市が管理する道路のうち未整備の百間境道路

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
対象指標 1	事業路線の全体整備延長	km	0.37	0.37	0.84	0.47
対象指標 2	事業路線数	路線	1	1	2	1

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・未整備の百間境道路について、道路改良、道路拡幅などの必要な整備を行う。
- ・社会資本整備総合交付金を活用し実施する。（補助率6/10）

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
活動指標 1	当該年度の工事延長	km	0.05	0.16	0.16	0
活動指標 2	当該年度の実施路線数	路線	1	1	2	1

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・歩道整備や狭隘部の解消により、車両や歩行者の安全で快適な通行環境を確保する。

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
成果指標 1	事業路線のうち整備済みの道路延長	km	0.05	0.21	0.37	0
成果指標 2	事業路線のうち整備が完了した路線数	路線	0	0	1	0

事業費の推移	単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
事業費 (A)	千円	31,488	86,959	78,217	57,450
正職員人件費 (B)	千円	4,986	6,094	6,178	6,220
総事業費 (A+B)	千円	36,474	93,053	84,395	63,670

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
31年度	・元江別66号道路の物件調査及び用地取得、物件補償	・元江別66号道路物件調査 11,000千円 ・元江別66号道路用地取得、物件補償 46,000千円

31年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：兵村4番通り道路整備事業

都市建設課 道路整備係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	平成30年度	終了年度	平成31年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

**対象（誰、何に対して事業を行うのか）**  
市道兵村4番通りの未整備区間

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
対象指標1	事業路線の全体整備延長	km	0	0	0.15	0.15
対象指標2						

**手段（事務事業の内容、やり方）**  
 ・未整備区間について、道路改良、道路拡幅などの必要な整備を行う。  
 ・社会資本整備総合交付金を活用し実施する。（補助率6/10）

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
活動指標1	当該年度の工事延長	km	0	0	0	0.15
活動指標2						

**意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）**  
 ・歩道整備や狭隘部の解消により、車両や歩行者の安全で快適な通行環境を確保する。

指標名		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績見込み	31年度予算
成果指標1	事業路線のうち整備済みの道路延長	km	0	0	0	0.15
成果指標2						

事業費の推移		単位	28年度実績	29年度実績	30年度予算	31年度予算
事業費(A)		千円	0	0	33,113	40,376
正職員人件費(B)		千円	0	0	3,089	6,220
総事業費(A+B)		千円	0	0	36,202	46,596

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
31年度	・兵村4番通りの道路整備工事	・兵村4番通り道路整備工事	37,296千円

31年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	